

(公財)京都市健康づくり協会		平成29年度経営計画 兼 経営努力結果	
<b>基本事項</b>			
所管局課	保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長寿企画課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %
<b>「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」</b>			
方向性	自律化	目標年度	平成27年度
<b>「今後の方向性」に向けた基本的方針</b>			
業務面	<p>協会の公益目的事業である介護予防事業など、中高年齢者の健康保持増進の推進に係るよりきめ細かい取組により、健康保持増進の必要性を自覚し、持続的な施設利用につながる種々の事業を行う。このため、広報等の充実はもとより医療機関との連携等も行い、きっかけづくりにとどまらず各種健康教室の充実等のフォローアップ体制を充実させる。併せて、関係機関や筋トレボランティア等と連携しながら、健康運動指導士の派遣等により地域での健康づくりの取組にも貢献する。</p> <p>よって、満足度の高い事業推進によるリピーターの拡大を図り、収益の維持・拡大を目指す。</p> <p>また、宣伝活動の強化等により青少年やホテル滞在の外国人等の健康保持増進に係る取組も実施し、収益の拡大を図る。</p>		
財務面	<p>協会の持つ専門性を生かした受託事業等の拡大を図るとともに、自主事業等の充実・強化により、安定的な収益の確保に努める。</p> <p>併せて、人件費の削減を図るため勸奨退職を行うとともに、賞与の一部削減や給料表の見直し等も行い、諸経費の節減等により、財務の適正化を目指す。</p>		
組織面	<p>協会固有職員の一層の能力や資質の向上と責任執行体制の確保を図るため、役員等の事務取扱を減らし、責任あるポストに補職を命ずる等意欲と責任感の向上を図る。ただし、この場合に人件費増に機械的につながらないように配慮する。</p> <p>また、上記勸奨退職の実施と合わせ、アルバイト配備の削減等無駄のない人的配備を行う。</p>		
その他	特になし		
<b>当年度の取組目標に対する意見</b>			
所管局	<p>専門性・独自性を発揮し、利用者のニーズに応じた質の高いサービスを提供することで、利用者の増加、収益の維持・拡大を図っていただきたい。また、引き続き経費節減と適正な人員配置に取り組み、安定した経営の維持に努めていただきたい。</p>		
<b>当年度の取組に対する総括(※)</b>			
団体(※)	施設利用者の増加とともに収入の増を図ることができ、結果として黒字を達成できた。		
所管局(※)	<p>老朽化した施設の修繕等、必要最小限の投資を行いつつ、経費節減に努め、当期正味財産増減額を平成28年度に引き続き黒字を維持した点や、過去最高の利用者数を達成したことは評価できる。</p> <p>ジムやプールといった民間と競合する事業について、独自性を発揮できる事業内容を検討しつつ、さらなる利用者の増加と利用料金収入などの事業収入確保に取り組んでいただきたい。</p>		
外郭団体総合調整会議(※)	<p>本市委託事業である京都市健康増進センターの管理業務については、プール・ジム利用者数が計画を上回り増加し、定期券購入者数も計画には未達も順調に増加しつつある。施設の利用者増加に取り組んでいる点は評価できる。</p> <p>引き続き、市民の健康増進・維持に寄与してほしい。</p>		

## (1)業務に関する取組

目標「利用者数の増加を図り、収益の維持・拡大を目指す」	
中期経営計画 における取組	<p>高齢化が進む中、健康寿命の延伸に係る関心の度合いは高いものの、実際に各個人が持続的な健康保持増進の取組を実施することはなかなか困難である。</p> <p>質の高いサービスの提供により、一人でも多くの人々がトレーニングジムやプール、あるいは各種健康教室等を利用し、介護予防等に係る取組を楽しく、かつ、長くじっくりと行えるよう支援することは協会の使命であり、健康運動士や医療スタッフ等が連携し、きめ細かい事業を行う。</p>
当年度目標	<p>京都市健康増進センターの指定管理者として、施設の維持管理に努める。また、高齢化社会における介護予防事業等の重要性が高まっていることから、利用者のニーズに応じた健康教室等を実施するなど、満足度の高い利用者サービスの提供に努め、利用者満足度の向上及び利用者増、収益の維持・拡大を目指す。併せて、これらの取組を通じ、京都市において実施する「健康長寿のまち・京都」の実現に向けて積極的に貢献していく。</p>
当年度結果 (※)	<p>施設の経年劣化が否めない中で、諸設備の計画的更新の必要性が高まってきているが、京都市に精査いただいた上で、緊急度の高い設備更新やメンテナンス工事を施工いただいたことから、営業上、特段の支障はなかった。今後も京都市と意思疎通を密にし、施設の安定的運営に努めていく。</p>

指標①	プール・ジム利用者数 (単位：人/年)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	100,000		101,000		102,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	106,459	100,000	103,778	101,000	116,259	102,000	—	117,257

指標②	定期券購入者数 (単位：人/月)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	480		500		530		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	461	480	457	500	473	510	—	495

## (2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	238,480	210,479	210,702	210,675	241,030	212,723	
経常費用	237,936	211,056	210,516	207,269	252,678	209,724	
当期経常増減額	544	△577	186	3,406	△11,648	2,999	
当期正味財産増減額	544	△577	186	3,406	△11,852	2,999	
資産合計	—	131,035	—	145,487	—	149,773	
負債合計	—	42,881	—	53,927	—	55,215	
正味財産	—	88,154	—	91,560	—	94,559	
うち累積損益額	—	38,154	—	41,560	—	44,559	

## 目標「収益の維持・拡大」

中期経営計画 における取組	<p>専門性を生かし、受託事業の拡大や自主事業の充実・強化を図りつつ、財務の一番大きな課題である人件費の削減等に引き続き取り組む。</p> <p>平成27年度は(公財)京都市都市緑化協会との連携により、梅小路公園を拠点とした健康づくり事業を具体化するとともに、筋トレ教室等の定員増や回数増を図る。</p> <p>人件費の削減については、年度末に新たに勧奨退職を行い、人員削減の協力を求めるとともに、賞与の一部削減も行う。</p> <p>また、正職員の給与体系の見直しを行い、協会独自の給料表の策定等を行う。また、アルバイトの採用等についても慎重に行い、人員配置を適切に行う。</p> <p>これらの取組により、経常費用の削減について下記の目標値を達成する。</p>
当年度目標	<p>職員の賞与減額及び昇給停止等、人件費を削減するとともに、指定管理施設の利用者増加、自主事業の充実に向けた取組を行い、収益の維持・拡大を目指す。</p>
当年度結果 (※)	<p>—収益幅が大幅とは言えないものの収益増を達成することができた。ただし、指標とした経常費用については、当年度の目標は達成したものの、中期経営計画での目標は未達となった。</p>

指標	経常費用								(単位:千円)
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	—	214,000		210,000		200,000			
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	
	217,855	214,000	211,056	210,000	207,269	210,000	—	209,724	

## (3)組織に関する取組

## 目標 職員の能力及び資質の向上並びに職員数の適正化

中期経営計画 における取組	<p>京都市からの職員の派遣が廃止され、補助金等も一切受けない体制が続く今日、協会固有職員の一層の能力や資質の向上が求められる。</p> <p>平成27年度は、これらの職員の更なる能力や資質の向上と責任執行体制の充実強化を確保するため、遅くない時期に役員等による事務取扱を減らし、責任あるポストに固有職員を配置する等意欲と責任感の向上を図る。</p> <p>また、平成27年度末に勸奨退職の実施により希望退職を求めるとともに、アルバイトを含め適切に人的配置を行う。</p>
当年度目標	<p>全ての職員が、多面的な視点を持ち問題解決へ取り組むこと、専門職においては専門的な知識・技能を高めることを目標として、必要な指導・研修を実施する。また、研修等を通じ、職員の意欲をさらに高めていきたい。</p>
当年度結果 (※)	<p>職員個々人が利用者サービス向上の視点を持ちながら業務を実施することができた。今後もOJT訓練も活用しながら、研修機会を拡大し、職員の専門性とともに意欲の向上に努めたい。</p>

指標	職員数（常勤） <span style="float: right;">(単位：人)</span>							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	13		10		10		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	14	13	13 (年度末1名退職)	13	11	12	—	11